

自治連

あさか

平成23年
2月1日
第6号

朝霞市自治会連合会



ごあいさつ



朝霞市自治会連合会会長 島 礼次

自治会連合会の皆様には、日頃から自治会連合会の活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

また、昨年は皆様方のおかげをもちまして自治会連合会の諸行事を無事終えることができましたことに重ねて御礼申し上げます。

近年、朝霞市におきましては、地域コミュニティの基礎とも言える自治会・町内会の加入率が年々低下しております。自治会連合会では何とか歯止めをかけたといと、会員一同、日々奮闘しております。この「自治連あさか」を多くの皆様にご覧いただき、自治会連合会として行っている活動や各自治会・町内会で行っている活動に少しでも興味を持っていただき、自治会・町内会に加入していただければ幸いです。

最後になりましたが、皆様のご多幸と各自治会・町内会のご発展を祈念申し上げます。自治連あさか第6号発行のあいさつといたします。



朝霞市長 富岡 勝則

自治会連合会の皆様には、日頃から市政全般にわたり、多大なるお力添えを賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

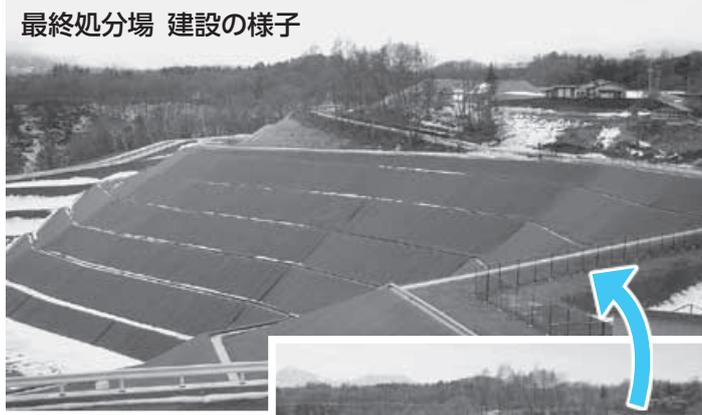
昨年は「市長を囲む意見交換会」や「自治会長研修会」などいくつかの行事で自治会連合会の皆様とご一緒させていただく機会がございました。その中でも自治会連合会の皆様との意見交換会では、より良い市政運営のためさまざまな視点からご意見を頂き有意義な意見交換をさせていただくことができました。行政といたしましても、今一度地域を見つめ直し施策を実施しなければと強く感じた次第です。

朝霞市自治会連合会の活動や各自治会・町内会の特色ある活動を掲載したこの「自治連あさか」が多くの市民に愛読され、自治会・町内会活動に対する理解が深まることをご期待申し上げますとともに、朝霞市自治会連合会のご発展を祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

自治会長研修会

研修テーマ
— 環境 —

朝霞市自治会連合会では、自治会長研修会として、毎年テーマを決め先進地視察などを行っています。今年度は、『環境』をテーマとし、11月17日～18日に開催しました。



最終処分場 建設の様子

物を受け入れた市町村数は、群馬県内で10団体、群馬県外から82団体の合計92の市町村等から廃棄物を受け入れていきます。朝霞市もクリーンセンターで焼却した焼却灰(ばいじん)をこの地まで運搬し、埋め立てをお願いします。



草津ウエストパークは、一般廃棄物管理型最終処分場として稼働しており、市町村から排出される一般廃棄物、焼却灰・処理済みばいじん・不燃物ごんさの埋め立てを実施しています。

▼朝霞市が最終処分場として廃棄物の埋め立てをお願いしている中の一つ、草津ウエストパークを訪問し、朝霞市クリーンセンターで焼却されたあとの焼却灰(ばいじん)がどのように埋め立てられているのか説明を受け、埋立地・貯水池などの視察を行いました。

▼翌日には、埼玉県寄居町にある、埼玉県彩の国資源循環工場を見学しました。施設内に入っている8つの民間企業の中から株式会社エ工計画と埼玉県環境整備センターを視察し、主にリサイクルについて学習しました。

視察で行われた質疑応答の一部を紹介します

Q1 草津ウエストパークの開場当初から比べて廃棄物の搬入量は増加していますか？減少していますか？その理由はどのような原因が考えられますか？

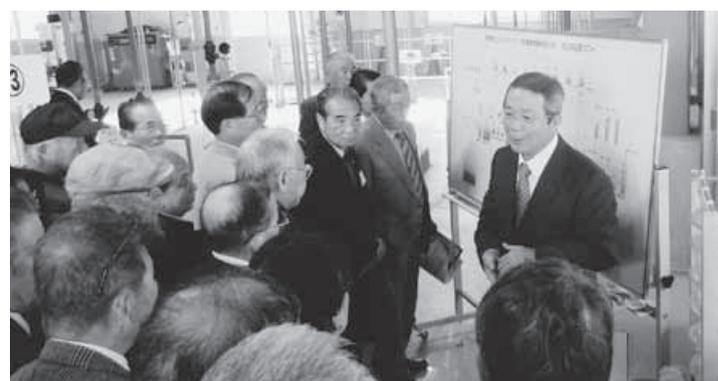
A1 埋め立て期間の設定をしていますので、毎年度埋め立て計画量を設定し、先々の過不足を見込み、受入量を調整していますが、排出先自治体のごみの減量化に対する取り組みの成果で、埋立ごみの量も減少傾向となっています。

Q2 今後の問題点はありますか？

A2 この埋立地の埋め立て期間は10年間なので、埋め立て量にかかわらず平成32年以降は新たな処分場が必要となります。

草津町は観光地として有名なので、最終処分場の建設にあたり、観光地のイメージを崩さないよう管理棟をアルペン風の外観にするなど景観に配慮しています。廃棄物を運搬する車両を1日60台に制限し、運搬時間も午前6時から7時までの1時間と正午から午後3時までの運行とするなど、騒音や大気汚染を抑制する努力を行い、周辺住民のご理解を得ています。

また、最終処分場は汚いとのイメージを持たれる方が多く、建設までにこのイメージを払拭するのが大変だったとのことでした。今回の視察で最終処分場や貯



廃棄物の埋め立てについて ㈱ウィズウエストジャパン 高橋営業部長から説明を受けている様子

水池などを見せていただいたところ大変きれいに管理されており、悪臭なども感じることはありませんでした。

自治連
あさか



市長を囲む 意見交換会

朝霞市自治会連合会では、毎年、「市長を囲む意見交換会」を開催しています。これは、自治会・町内会長と市長及び市執行部とが意見交換をすることで、よりよい自治会運営を目指すことを目的としています。

今年度も10月28日に朝霞市役所において開催し、多くの自治会・町内会長が出席しました。自治会連合会側から市政について11問の質問(右表参照)を行い、市執行部からご回答を頂きました。

以下に、自治会からの質問と市の回答について、一部を抜粋して紹介します。



質問順	提出者	質問内容
1	自治会連合会	湯〜ぐうじょうの今後について
2	自治会連合会	公園整備について
3	城山町内会	根岸台自然公園の清掃管理について
4	三栄自治会	水久保公園の管理について
5	浜崎親交会	星の森公園について
6	シャルマンコーポ第二朝霞自治会	循環バスについて
7	シャルマンコーポ第二朝霞自治会	ゲリラ豪雨対策について
8	三原町内会	空き地対策について・空き地の雑草について
9	東かすみ台町内会	「一時停止」の標識板設置について
10	浜崎南親和会	派出所(交番)の出入口敷石について
11	霞ヶ丘親睦会	雑木林がマンションに変更

公園整備について

Q1

朝霞市の公園は基本的にボール遊びが禁止になっています。しかしながらボール遊びを行っている児童がいるのが現状です。児童においては、ボール遊びがしたい。また幼児を持つ母親や高齢者においては安心・安全に公園で過ごしたいという思いがあると思います。そのような中、今後、市として公園整備をするにあたりどのような見解をお持ちでしょうか。

A1

市内の多くの公園は、小規模で面積が狭いため、公園利用者の安全や公園周辺の住宅への影響を考慮し、ボール遊びを禁止しております。

しかしながら、議会や市民からの市への意見・要望などで、ボール遊びができる公園整備についての要望があることも事実でございますので、新設する公園については、ボール遊びについて検討したいと考えております。

現在ボール遊びができる公園として検討しているのが、弁財町内会の近くの三原公園でございます。三原公園につきましては、来年度に拡張整備を計画しており、拡張する部分につきましては、ボール遊びができる公園としての整備を考えております。ただし、既存の三原公園はボール遊びを禁止しており、ボール遊びができる公園整備を行うには、近隣住民や公園利用者の方々のご理解が必要となりますので、皆様のご意見をお伺いしながら、整備を進めたいと考えております。

また、その他の既存の公園につきましても、町内会をはじめとする近隣住民の方々で、時間帯を決めての利用方法などのルールづくりを含め、公園でのボール遊びができるようにしたいとの意見をまとめていただければ、市としてもボール遊びができる公園としての整備の検討をさせていただきたいと考えております。

「一時停止」の標識板設置について

Q2

根岸台七丁目34番から日の出橋へと続く道路と、31番の東かすみ台児童遊園地下と34番先へと続く、朝霞市と和光市の境の道路との交差する場所へ「一時停止」の標識板を設置して欲しい。

理由は、特に34番の市境の道路から31番児童遊園地先へと直進するオートバイ等が、この交差点で一時停止せずに通過するため、非常に危ない場面があり、町内会員から標識板設置の強い要望が出されたものです。

A2

「一時停止」の標識板設置について、平成22年9月29日に所管課である道路交通課と朝霞警察署において、現地の状況を確認してまいりました。

「東かすみ台町内会」様の要望のとおり、朝霞警察署においても設置が必要であると判断したことから、市から朝霞警察署に「設置についての要望書」を提出し、必要な手続きを行いました。

今後、埼玉県公安委員会で設置について決定された後、標識が設置されることとなりますので、もう暫らくお時間をいただきたいと思います。



各地区の自治会活動報告

第一区

県営朝霞幸町団地自治会
会長 大野義定

自治会15年の歩み

県営朝霞幸町団地は周囲に朝霞西高校や第一中学校、そして近くに青葉台公園と環境に恵まれている所です。当自治会は平成7年の入居と同時に3棟90世帯全加入で発足しました。役員は会員の親睦を図るため、全会員を5班に編成し、1年交代の輪番制で役員会を運営しています。また毎月1回団地内の清掃活動をし、終了後お茶を飲みながら談笑の一時を過ごしています。

団地は上の原町内会のほぼ中央に位置している関係から、上の原防犯活動隊と当防犯隊が合同でパトロール実施、親交を深めています。自治会も発足以来15年、幸い火災も大地震も経験なく来ました。火事は各自の注意で防げますが、高齢化が進む中で何時発生するか予測の出来ない災害に備え、防災訓練、非常食の備



▲団地内の清掃活動

蓄など順次進めています。平成21年度にはプライバシーを考慮した、全世帯の構成人員の把握調査も実施しました。いざ災害発生時に慌てず被害の軽減に対応出来るかが課題です。

第二区

弁財町内会
会長 大江義雄

地域交流と町内会の活性化について

弁財町内会は98世帯4班編成の小さな町内会で、昭和39年に発足し今年で47年になります。私たち町内会の最優先課題としては「相互扶助の精神」を大切にした町づくりです。

これからは町内会への無関心さや非協力の慢性化に対する問題を解決しながら、地域社会の高齢化と独り住まいの方々の増加による、孤立化や数少ない現役世代の方々に対し、遅まきながら地域交流による町内会の活性化を図るべく、今後は町内会員の皆さんと積極的に話し合いを重ねていきたいと思っています。

例えば、平成20年の7月から近隣の町内会さんと連携して、週1回のペースで三原公園の「夜の防犯パトロール」(約3人編成)を実施しています。これは文字通り防犯を第一目標としてゴミ拾い、散水、そして日



▲三原公園の「夜の防犯パトロール」

常会話を通してのコミュニケーションづくりを、もっと充実していきたいと思っています。

また、平成21年の10月に私たち町内会をはじめ、三原町内会、若松町内会、新和自治会、下の原文化会さんと合同で、「三原連合町内会自主防災会」を発足いたしました。

当初56名編成で防災活動を開始し、他の地域の方々との交流を密にしながら、地域住民の活性化に繋がっていきたくとも考えています。

そして現在の三原公園に隣接している畑の部分が拡張され、昨年4月供用開始の計画が発表されています。

現在の公園と合わせると約730坪となり、立派な公園となる予定です。この点も近隣町内会、自治会の皆さまや「たのまち会」の方々と協力し、市役所の関係部署と連携しながら、より良い憩いの場とすべく、もっとお年寄りや幼児、小中学生たちと身近で有益な触れ合いが出来るようになればと願っています。

以上の事柄を踏まえて、過去歴代4名の先輩会長さんのご尽力でつくり上げて頂いた町内会を、今後も立派に引き継いでいきたいと思っております。

第三区 溝沼下町内会 会長 獅子倉康治

多くの事業を通して 会員相互の親睦を

溝沼下町内会は市道1号線から入り北へ東上線迄の間に位置し約430世帯の町内会であります。一部第六小学校区域となっておりますが大半が第十小学校へ通っております。中学校は第三中学校です。

黒目川東林橋から東上線迄の桜並木に一番近く「黒目川花まつり」の時は、溝沼鳴子チームのやきそばや、フランクフルト等、また婦人会では鳥めしおにぎりや豚汁の販売で、花まつりに参加しています。春秋の黒目川清掃にも多くの方の参加を頂



▲溝沼下町内会大運動会

き、身近にある黒目川の自然を大切に環境整備にも取り組んでいます。

さらに溝沼連合町内会主催の「納涼盆踊り大会」、小学生を対象とした防災宿泊体験や市民体育祭、中学校区ふれあい体験学習等、今年度は当番町内会として一切の運営を任ざれておりますので役員さんのお骨折りを頂きながら、順調に活動しています。

また下町内会として春は「日帰りバス旅行」、秋は「溝沼下町内会大運動会」を開催しています。この運動会は今年度で24回目となり東洋大体育館をお借りして、毎年10月に子どもから高齢者迄190名の参加

を頂き、家族揃って楽しい一日をすごしています。

その他ゴルフコンペ・ボウリング大会・もちつき大会等、多くの事業を行っています。

防犯活動にも力を入れ、月2回地域の巡回を行っています。

すべての行事に御協力頂いている役員さん、会員の皆さんに、常に感謝しながらこれからも、明るく元気な町内会作りに励んで参ります。

第四区 中央町内会 会長 深津廣良

防災訓練の重要性

中央町内会は、マルエツ朝霞店の西隣りに位置し、市役所、銀行、駅に近く便利な生活環境の小さな町内会です。日帰り旅行会や模擬店イベント(秋のふれあい祭り)等を行い、小規模ながらアットホームに楽しく活動しています。また、連合会の防犯パトロールと並行して、独自の防犯パトロールも行っています。平成22年度は4区連合にて市役所において、消防訓練を実施致しました。以前コミュニケーションセンターで消防署員の方より救急患者の気道の確保の指導体験をさせて頂きました。越生のトレッキングに参加した折、男性が倒れておりまっ青で意識のない状態



▲アットホームな模擬店イベント

でした。気道の確保をしなくてはいけないと思ひ、気道の確保を実行しました。男性はスーと息をした様子に見え、顔色に少しずつ赤みが差して来ました。その後救急隊員の方がみえ、担架で搬送されていきました。訓練の体験をした事が有るか、無いかで大きく違います。地域で出来る防災訓練の重要性を改めて感じました。消防訓練では、AEDの使用法、心臓マッサージ等難しいものも有りましたが、急場において救急車を呼んでほしい時「どなたか救急車を呼んでください」ではなく、指差して「あなたが救急車を呼んでください」



▲ 親睦運動会

と指定してお願いすると良いなどの
確なアドバイスも指導して頂きまし
た。

第五区

広沢町内会は元気です

広沢町内会
総務担当副会長 松本恒彦

広沢町内会地域の西の端には、東
の方を見つめる「広沢聖観音様」が、
広沢の池の畔に、朝霞市史跡として、
地域の人々の集う所としてありま
す。庫裏と境内は、夏祭り、親睦運
動会、市民体育祭、餅つき大会、そ

ば、うどん打ち大会、いも煮会等々、
年間事業の打ち上げの会場となつて
おります。玄人顔負けの料理人(文
化部役員)の豚汁やカレー、おでん、
その他創作料理がでます。コップ片
手に語らえば、老人から子どもまで、
穏やかで和やか、喜びの声に包まれ
るひと時となります。この平穏を守
る一助となるように、自主防犯パト
ロール隊を組織して、夜間パトロー
ルと児童見守りパトロールを実施し
ております。

また、朝霞市地域自主防災活動に
参加して「広沢自主防災会」を組織
し、町内会館の敷地内に「自主防災
倉庫」を建設して、防災資機材およ
び非常食を備蓄しています。災害に
備えて、よりいっそうの充実を図り
ます。

第六区

地域住民の親睦・交流について

三栄自治会
会長 野溝 優

三栄自治会は根岸台7丁目にあ
り、和光市との境・水久保公園に隣
接した閑静な一戸建約90棟(最近2
世帯住宅への建て替えが増えてい
る)で良くまとまった自治会です。

昭和55年に自治会が発足し、朝霞
市、及び、朝霞市自治会連合会の諸
行事(きれいなまちづくり運動、朝



▲第42回シラコバト賞を受賞した「ゆうゆう会」

霞市民まつり、防犯パトロール、社
会福祉協議会の諸行事、朝霞第八小
学校・第四中学校のふれあい事業等)
に積極的に参加しつつ地域住民の親
睦・交流を深めてきております。

その中で昨年の彩の国コミュニ
ティ協議会が主催する第42回シラコ
バト賞を受賞した「ゆうゆう会」に
ついてご紹介いたします。

地域でともに助け合い・ともに生
き甲斐づくりの場を作ることを目的
に、三栄自治会、東かすみ町内会
及び、近隣の方々も含め活動してお
ります。

活動は毎月3回水久保公園管理事

第七区

上内間木町内会活動報告

上内間木町内会
会長 野島一夫

務所に集まり、ラジオ体操、全員遊
戯、トランプ、麻雀、囲碁、将棋、
カルタ、趣味のものづくり(コマ作
り、折り紙などの紙工作や編み物、
デコパージュ、絵手紙など)、健康
講座、健康相談等の実施、また、誕
生祝だんご会、季節に応じた新年カ
ルタ会、花見だんご会、納涼会、忘
年会等を実施しております。

更に、保健センターの「健康まつ
り」、小学校・中学校の「ふれあいまつ
り」等、外部活動への参加、また、他の
グループとの交流等も実施し、地域
住民の親睦・交流を深めております。

上内間木は市内東北部に位置し、
町内中央を南北に県道朝霞線が貫
いて、その県道を横断する形でJ R
武蔵野線が東西に走っている地域で
す。また、昨年春、南部に国道254
号和光富士見バイパスが一部開通
し、農村部が少しずつ変化し発展が
見込める地域になってきました。

住民も少しずつ増加し、中小事業
所の進出もあって、上内間木町内会
は会員310世帯、賛助会員140
事業所の協力をいただいて活動して
います。

自治連 あさか



▲ボウリング大会

事業としては、会員の結束を高め、住民同士の交流と親睦を目的とするレクリエーションなどの親睦事業や防災活動、環境美化活動等を行い、また各種団体との連携を深めて、「明るく元気な魅力ある街づくり」を行っていきます。

特に親睦事業は活発で、春はボウリング大会か潮干狩りで50名前後の参加があります。夏は納涼大会で子供会・婦人会等諸団体の協力を得て600名前後の参加で盛大に行われています。秋は地元朝霞パブリックゴルフ場を舞台に50名前後参加の大きな大会を行っています。いずれも

私達の朝志ヶ丘自治会は、昭和35年7月に発足し、昨年は50周年に当たる記念の年でした。朝志ヶ丘の名前の由来は、朝霞と志木の境界に近いということの名付けられたと聞いております。当初は23世帯から始まり、現在は1300を超える世帯となっております。

発足当時は道路の舗装はされておらず、雨が降ると泥んこ道で大変でした。また、上水道、下水道も完備されてなく、苦しい時代でした。

昭和45年に地主様のご厚意により私有地を無償でお借りし、児童遊園地(通称・森公園)を開設し、平成20年11月、地主様にお返しするまで、当自治会の7月の納涼盆おどり大会、11月の小さな秋まつり、2月の

第八区

犯罪のない
明るい町を目指して

朝志ヶ丘自治会

会長

南條喜明

老若男女が世代を超えて和気あいあいと楽しめる行事になっており、年々参加者が増加しています。

今後の課題としては、水害・ごみ不法投棄対策及び町内にある内間木地域の休業中の公共施設「憩いの湯」の有効な再生で、教育・文化・福祉などの機能充実、地域生活の利便性向上に期待しているところです。



▲防犯パトロール隊

もちつき大会等、色々なイベントが開催されましたが、一昨年から公園が無くなり会員の親睦につながるイベントが皆無となっております。

自主防災組織も発足させました。自主防災組織も発足させました。具体的な活動は出来ておりませんが、朝霞市で唯一の自警消防団があり、市から提供の消防ポンプで毎月第3日曜日に訓練を行い、有事に備えております。

防犯活動もパトロール隊員によるパトロール、会員全体に呼びかけての全体パトロールを精力的に行い、犯罪の無い明るい町づくりに取り組んでおります。



自治会・町内会は、地域の結びつきを深めながら、安心で安全な地域づくりを目指してさまざまな活動をしています。あなたの参加をお待ちしております。

自治会・町内会に加入するには

ご近所さんにおたずねの上、自治会長・町内会長にお問い合わせください。

平成22年度朝霞市自治会連合会役員

役職	名前	団体役職名
顧問	金子 好隆	社会福祉協議会長
会長	島 礼次	向山自治会長
副会長	川野紀代美	シャルマンコーポ第二朝霞自治会長
副会長	梶原 孝男	下の原町内会長
副会長	伊藤 允光	浜崎上町内会長
会計	岡崎 和広	霞台町内会長
会計	松田 忠男	浜崎団地自治会長
理事	鈴木 昭八	緑ヶ丘親交会長
理事	高橋 優	下の原南部町内会長
理事	星野 隆	溝沼第一町内会長
理事	獅子倉康治	溝沼下町内会長
理事	深津 廣良	中央町内会長
理事	水久保亀幸	仲町町内会長
理事	谷内 周平	栄町町内会長
理事	松井 宏之	東かすみ台町内会長
理事	醍醐 清	田島町内会長
理事	五十君欣司	境久保町内会長
監事	海野 進	コンフォール東朝霞自治会長
監事	鈴木 龍久	広沢町内会長

● 広報委員会名簿

委員長	浜崎上町内会	伊藤 允光
自治会連合会	向山自治会	島 礼次
自治会連合会	シャルマンコーポ第二朝霞自治会	川野紀代美
自治会連合会	下の原町内会	梶原 孝男
1 区	膝折団地自治会	松本 哲次
2 区	三原町内会	室谷外喜男
3 区	溝沼下町内会	獅子倉康治
4 区	中央町内会	深津 廣良
5 区	霞台町内会	岡崎 和広
6 区	城山町内会	大岡 昇
7 区	田島町内会	醍醐 清
8 区	浜崎団地自治会	松田 忠男

ありがとう
ございました



退職自治会・町内会長

この紙面で、昨年度をもって退職された自治会・町内会長の皆様をご紹介します。

（敬称略）

在職19年 伊藤 五孝 若松町内会
在職6年 塩野 昌弘 膝折宿町内会

在職5年	河野 昌一	溝沼第五町内会
在職4年	内田 孝造	東町内会
在職2年	浅川喜久次	三栄自治会
在職2年	安達 知彦	霞ヶ丘東親和会
在職1年	午來 直人	富士見台自治会
在職1年	松沢 英安	ローリエ朝霞台自治会
在職1年	室井 徳治	昭和台町内会
在職1年	元井 俊樹	霞ヶ丘親睦会

表紙の写真

平成22年10月28日、朝霞市役所で「市長を囲む意見交換会」を開催しました。当日は、自治会連合会及び各単位自治会から「湯〜ぐうじょうの今後について」「公園整備について」「一時停止の標識板設置について」等の質問に対して、市から回答をいただきました。地域課題の解決に向けて、今後も「市長を囲む意見交換会」を開催していきます。

編集後記

いま「無縁社会」の到来が話題になっている。「血縁」「地縁」「職縁」といった人間同士のつながりが失われつつある。それを象徴するのが、世に怒りと衝撃を与えた大阪での放置死事件や高齢者の孤立化・孤独死問題である。そんな最悪の事態を引き起こさないためには、やはり人と人の結びつきが重要ではないだろうか。そういった意味では、今後自治会・町内会の役割がますます重要になることが予想されるし、責任の重さをひしひしと感じる。自治会・町内会がこれから「無縁社会」の希望になるのだから。

文責 岡崎和広